

1971年8月7日第3郵便物認可(毎月6回)1の日・6の日発行
1999年4月6日発行 SSKA増刊通巻 号

SSKA		
全国パーキンソン病 友の会会報 茨城県支部だより	第47号	郵便振替口座番号 00300-4-38042
	平成11年	全国パーキンソン病友の会茨城県支部 〒315-0018 茨城県石岡市若松 1-7-5
	1999.4.6	TEL&FAX 0299-22-5580

第14回定期支部総会議案書

☆日 時 平成11年4月11日(日)午前10時受付開始
☆場 所 水戸市千波町1918番地茨城県総合福祉会館 4階大研修室
☆交 通 水戸駅より旧6号国道千波経由県総合福祉会館前下車 ☎029-244-4545

総会次第

1. 物故者に対し黙祷/開会のことば(10:30)
2. 支部長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 祝電・メッセージ披露
5. 議長選出
6. 議事
 - (1) 平成10年度活動報告 -----P 2, 3
 - (2) 平成10年度収支決算報告 -----P 4
 - (3) 平成10年度特別会計報告/会計監査報告 -----P 4, 5
 - (4) 平成11年度活動方針(案) -----P 6
 - (5) 平成11年度一般会計予算(案) 特別会計予算(案) -----P 5
 - (6) 平成11年度支部役員選出(案) -----P 6
7. 新旧役員の紹介とあいさつ
8. 議長解任
9. 事務局からの連絡事項
10. 閉会のことば(12:00)

休憩(昼食)

第2部(医療講演)

- ★講 師 筑波大学大学院医科学研究科社会医科学系教授 紙屋克子 先生
★演 題 「ステキにケア・楽しくリハビリ」(13:00~14:00)
(家族と二人三脚で快適な生活を送るために)

トイレ休憩

- ★質疑応答(14:10~14:40)

平成10年度活動報告

はじめに、

昨年春以降、全国の患者・家族団体が強く反対運動をすすめてきた特定疾患の患者負担導入が5月1日から実施されました。一昨年9月の健保本人2割負担への引き上げや老人医療費の自己負担増と薬代の二重負担に引き続く負担強化は、国民の医療を受ける機会を一層狭めることになりました。

さらに、医療保険制度「抜本改革」と称して、負担の強化、給付の制限、医療供給体制の縮小などを中心としたさらなる改悪をめざして検討が続けられています。年金制度も「保険料引き上げか、年金額引き下げか」とどちらをとっても改悪でしかない改革案の選択を求めています。介護保険制度についても、保険料は40歳以上の全国民から強制的に徴収するのに、保険サービスの提供は65歳以上の要介護老人に限定しています。施設もヘルパーも不十分なまま実施されようとしています。

不況のもと、貯金金利はまったく期待できず、消費税は引き上げられ、各社会保険の保険料や、医療費自己負担の引き上げによって、患者の生活は苦しみのもとに追いやられています。患者の生命と生活に深くかかわる我が国の社会保障制度は、大きく変貌していこうとしています。

このように、私たちを取り巻く情勢は厳しいなか、県支部は次のような活動を行って来ました。

- 1, 第13回定期支部総会を県総合福祉会館で、筑波大学臨床医学系神経内科教授庄司進一先生を迎えて行った。(H10. 4. 12)
- 2, 難病患者の治療費自己負担導入反対請願書を厚生省に提出した。(H10. 4. 28)
- 3, 第13回JPC総会、霞が関プラザホールで開催された翌日国会請願に参加した。(H10. 5. 31~6.1)
- 4, 第22回全国総会・大会が大宮市ソニックシティで開催した。(H10. 6. 6~7)
- 5, 第13回患者・家族交流会を潮来町「潮来ホテル」で開催した。(H10. 10. 3~4)
- 6, JPC全国患者・家族集会 in 高知に参加した。(H10. 11. 14~15)

平成10年度活動日誌

〔支部役員会〕	〔県難連役員会〕	〔全国役員会〕	〔各種会報発送〕	
10. 5. 17 (日)	10. 5. 24 (日)	10. 4. 26 (日)	10. 4. 6	支部会報44号
10. 7. 12 (日)	10. 6. 21 (日)	10. 7. 26 (日)	10. 4. 29	難連会報38号
10. 9. 13 (日)	10. 8. 9 (日)	10. 10. 10 (土)	10. 4. 8	支部会報45号
10. 11. 8 (日)	10. 10. 11 (日)	10. 11. 29 (日)	10. 5. 25	全国アンケート
11. 2. 13-14(土)	10. 12. 13 (日)	11. 1. 23 (土)	10. 7. 31	全国会報68号
11. 3. 28 (日)	11. 2. 14 (日)	11. 3. 21 (日)	10. 8. 5	難連会報39号
			10. 11. 18	全国会報69号
			10. 12. 18	支部会報46号
			11. 3. 5	難連会報40号
			11. 3. 25	全国会報70号
〔県難病相談会に協力〕	〔保健所主催パーキンソン病教室〕		〔県委託難病電話相談〕	
10. 7. 24(金) 銚田保健所	10. 9. 25(金) 笠間保健所		10. 4. 1(水)	10. 11. 4(水)
10. 12. 11(金) 土浦保健所	10. 11. 17(火) ひたちなか保健所		10. 4. 22(水)	10. 11. 11(水)
11. 2. 15(月) 笠間保健所	11. 2. 19(金) 潮来保健所		10. 4. 29(水)	10. 11. 20(水)
			10. 5. 6(水)	10. 11. 25(水)
			10. 5. 15(金)	10. 12. 2(水)
			10. 5. 20(水)	10. 12. 9(水)
			10. 5. 22(金)	10. 12. 15(火)
			10. 6. 3(水)	11. 1. 6(水)
			10. 6. 18(水)	11. 1. 13(水)
			10. 6. 22(月)	11. 1. 20(水)
			10. 7. 1(水)	11. 2. 3(水)
			10. 7. 8(水)	11. 2. 10(水)
			10. 8. 12(水)	11. 3. 3(水)
			10. 8. 14(金)	11. 3. 10(水)
			10. 8. 19(水)	11. 3. 17(水)
			10. 9. 2(水)	11. 3. 24(水)
			10. 9. 9(水)	11. 3. 31(水)
			10. 9. 30(水)	
			10. 10. 7(水)	
〔難病見舞金制度の制定に関する陳情書提出〕				
10. 7. 16(木) 日立市・市議会事務局・市長・議長				
10. 7. 17(金) 石岡市・市議会事務局 次長				
10. 7. 21(火) つくば市・市議会事務局 議長				
10. 7. 28(火) 水戸市・市議会事務局 議長				
10. 8. 6(金) ひたちなか市・市議会事務局 議長				
10. 8. 10(火) 土浦市・笠間市・市議会各事務局				
10. 8. 20(水) 総和町・古河市・三和町各議会事務局				
10. 8. 24(月) 緒川村・美和村 各議会事務局				
〔その他の活動〕				
10. 4. 29(日) 第16回県難病連総会——県総合福祉会館				
10. 7. 9(木) 県との懇談会の要請——県衛生部保健予防課				
10. 9. 6(日) 県北・中央地区合同交流会——県総合福祉会館				
10. 10. 25(日) ダウン症シンポジウム——つくば市ノバホール				
10. 11. 29(日) 県南地区交流会——竜ヶ崎市・馴染公民館				
11. 2. 9(火) 県保健予防課との懇談会——県総合福祉会館				
11. 3. 23(火) 総会報道依頼——水戸市・各報道機関				

平成11年度活動方針(案)

- 1, マスコミ、県や市町村の広報、病院、各保健所を通じ未加入潜在患者の発掘につとめ、一般社会にパーキンソン病の啓発宣伝を行います。
- 2, 地区別(ブロック)活動の推進をはかります。
- 3, 患者・家族交流会(一泊旅行)を行います。
- 4, 必要に応じて患者宅を訪問致します。
- 5, 県難連、他難病団体、パーキンソン病友の会他支部との連帯を深めていきます。
- 6, 支部会報(支部だより)を発行します。
- 7, アジア太平洋国際会議を成功させるための取り組みをします。
- 8, JPCの「21世紀をめざしてがんばれ難病患者日本一周マラソン」を積極的に支援します。

平成11年度支部役員選出(案) 敬称略

支 部 長	◆※	清 水 昇 勝	(石岡市)	中央地区担当
副 支 部 長	◆	植 本 泰 久	(竜ヶ崎市)	県南地区担当
事 務 局 長	◆◎	清 水 晴 美	(石岡市)	中央地区担当
事 務 局 員	◎※	綿 引 義 男	(笠間市)	"
"		寺 門 京 子	(那珂町)	県北地区担当
"	◎	植 本 純 代	(竜ヶ崎市)	県南地区担当
"		益 田 功	(守谷町)	"
会 計	◎	大 森 誠	(水戸市)	中央地区担当
会 計 監 査	◎◇	小 佐 畑 弘	(那珂町)	県北地区担当
"	◎◇	寺 門 正 次	(")	"

凡例 ◆本部役員 ※県難連役員 ◎健全者 ◇事務局員兼務

[ブロック活動に伴う世話人]

日立保健所管内患者・家族会	世話人	君 島 政 雄
		益 子 健 次
潮来保健所管内患者・家族会	世話人	関 口 貞 夫

メモ
